

学校名	福島県立会津支援学校	校長	伊藤俊幸
住所	福島県会津若松市一箕町大字鶴賀字下柳原 102		
TEL	0242-32-2242	URL	http://aizu-sh.fcs.ed.jp/

叶えよう僕らの希望！ ～3年連続一般就労率40%越え達成～

進路指導の充実に向けて以下の点をより重視して行っています。

- ・生徒一人一人が自らの進路について考え、自ら決定することを大切にし、関係機関との連携強化を図っています。
- ・授業づくりの工夫として、それぞれの作業学習にて、生徒が主体的に取り組むことができるように工夫しています。(生徒たちの意識改革、環境整備、補助具の作成、作業内容の検討など) また、職業の時間を設定して、自己理解や他者理解の学習・ソーシャルスキルトレーニングを通して人間関係作りの基礎作りを行ったり、様々な職業についての理解を高めたりしています。

農芸班の落花生収穫交流 ～地域との交流～

地域の幼稚園の子供たちにタネの巻き方を教えます。その際ボランティアの方々とも交流しながらともに協力して行います。また同時に企業



の落花生工場の方に様々な技術指導を受けています。それぞれ、地域とのふれあいによって、社会参加の意識がぐっと高くなり、自分が必要とされる存在であることや、いま自分たちが学習していることの意味を再認識することができました。



クリーン班の地域の清掃活動

駅や自然の家、地域の相談支援センターなど実際に地域にでて清掃活動を行なっています。外部の評価や客観的な評価を受ける機会を増やし、自分たちの活動について振り返る指標にしています。



喫茶サービス班の、A型事業所の喫茶店での学習



一人につき複数回行きます。現場で働くことで、喫茶接客技術の向上につながり、そして客の反応がダイレクトに感じられます。自分の評価と店舗側からの評価を比べることで自分の課題を見つけ、授業や次の校外学習の中で自ら考え、解決していくことができるようにしています。



働く意義や働くために必要な力、様々な職業や大まかな職業分類についての理解が進み、生徒自身が仕事に対する適性を感じ、進路先や希望を実現するために必要な力をより具体的に考えることができるようになってきました。より自分の可能性を見つめ直し、より自立に向けてチャレンジする生徒が増加しています。(一般就労率、28年度 44.4%、29年度 41.3%、30年度 46.4%)

作成

西暦 2019 年 6 月